

社協たかだ

社協たかだ 会報 第13・14合併号

【ご挨拶】

昨秋の台風が続いて、新型コロナ。お花見もオリンピックも延期という国難にもかかわらず、地域の皆様の変わらぬご協力、心より御礼申し上げます。その最中、肝心の会報が合併号となりましたこと、謹んでお詫び申し上げます。つきましては、支部社協も発足丸7年。恒例の地域行事ご報告に加え、社協活動全般のよもやま話をお伝えします。令和二年も、宜しくお願い致します。

運営委員長 田中宏



みんな笑った敬老落語の小太郎さん

【敬老祝賀会】

お陰様で9月29日、台風の隙間に無事に開催。アトラクションは、県内全域で人気の万葉亭小太郎さん。落語が得意な社会福祉士・介護支援専門員として、お得意の敬老落語をご披露。暗くなりがちな高齢化社会ですが、実際には、面白ネタもゴロゴロあるというお話でした。皆様の益々の笑顔と、小太郎さんのさらなる活躍をお祈り致します。

【高田地区交流研修会】

11月17日、千葉県東部に向けて出発。総勢31名（内、子供3名）にて、佐原市の伊能忠敬記念館に続き、成田空港の航空科学博物館を見学しました。先人の偉業と、現代の飛行機の世界。いつの時代にも、人間のより良く知ろうという心の先に、希望の扉は開きます。新型コロナに揺れる春も、慎重かつ粘り強く、地域の学びを持続できれば幸いです。



第二の人生で偉業を成した忠敬と記念館

【防災訓練イベントは中止に】

年度末に予定しておりました、東京都臨海広域防災公園の見学と体験学習会は、新型コロナ対策のため、中止のやむなきに至りました。大変な春になったものですが、さまざまな困難な中でも防災の初心の大切。冷静に行動し、身体生命財産を守り抜きましょう。



うら面につづく

★よもやま話 その①～地域に欠かせないのは、「きょういく」と「きょうよう」って？

2月15日、友部公民館で開催された地区社協活動研究集会・在宅ケアチーム員研修会（ああ、名前が長い、カタい！）に参加したところ、なんと、中身は面白かったです。

講師の先生が語る、このタイトルの二つの大切。つまり、地域には、「今日行く」ところと、「今日用」があるという事なのです、というお話。動くきっかけがあるほうが、人は動き、動くことで元気が湧いてくるという。いずれにしても、ヒマ持て余すのはよろしくない。どんな小さなことでもいい。恥ずかしがらずに、動いてみましょう。

★よもやま話 その②～ふれあいサロン活動は気楽で自然なところから

研修会でのもう一つの話題は、地域のふれあいサロンです。市内でも、公民館などで開催されて、盛んな地域もあるようです。ところが、実は、サロンは幅広い世界らしい。

例えば犬のお散歩グループも、立派にサロンと言えとか。要はどんな形であれ、対話と交流の場であれば良いのです。うちの近所でも、草刈りの合間に田んぼの土手とかにテキトーに「ぶっちかって、くっちゃべって」いたりしますね。昔ならば、冬に炭窯の前でたむろしていたおっさんたちとか。自然に、自分たちの気持ちで集まってくることで、素晴らしいことらしいのです。



懐かしい焚火（資料画像・日本焚火学会より）

★よもやま話 その③～三密避けて、しかもこの地域らしいサロンとは

②の続きになりますが、実は、イメージよりもずっと、サロンは自由で自然なものなのでした。が、ここで変なことになった。新型コロナのために、集まることが善だったのが一転、悪となってしまった春。しかしそこは、元々が人のまばらな高田地区。三密避けて風通しの良い屋外などに小さなサロンが続出すれば幸い。夏は木陰で、冬ならば安全と距離に留意しつつ焚火を灯して、とか。この地にふさわしいサロンが、災い転じて芽をふく＝福ことがありますように。

【重要！】→3月25日受付開始！コロナ関連の貸付特例など

●「緊急小口資金」

＊貸付額：20万円以内＊返済期間：2年以内＊利子：無利子＊対象：おもに休業した人
→取り扱い窓口は市役所ではなく社会福祉協議会です（貸付には条件がありますのでお問い合わせ 電話 73-0084）

編集後記

緊急小口資金、取り急ぎ紹介させて頂きました。が、7年経っても、地元の動きは十分とはいえず申し訳ございません。少しずつでも、前に進めたい春ですが、不明の点お問い合わせは、担当田中（09069341504）まで。